

コード No. 18341

**Anti-Human
Fatty Acid Synthase (FAS) Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 100 µg

-
- はじめに : 脂肪酸合成酵素 (Fatty Acid Synthase, FAS) は、生物界に広く存在する酵素で、植物や細菌にも認められています。動物種では約 254 kDa サブユニットのホモダイマータンパク質として存在します。ヒトの脳、乳癌、肝癌から cDNA がクローニングされその遺伝子産物が明らかにされています。正常では、脳、肺、肝臓、脂肪組織にその mRNA が発現しており、またいくつかのがん組織でも FAS の過剰産生が報告されています。また、一部のがんではその発現量が予後と逆相関することが報告されています。
- 免疫抗原 : Human Fatty Acid Synthase の部分合成ペプチド (AELQQHDVAQQQWDPAD)
- 精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製
- 包装形態 : 1 % BSA, 0.05 % NaN₃ 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥
- 再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加(この時濃度は 100 µg/mL となります)
- 保存方法及び安定性 : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定
溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定
- 使用目的及び使用方法 : 免疫組織染色 2~5 µg/mL にて使用可能 (ホルマリン固定、パラフィン切片)
ウエスタン・ブロッティング 2~5 µg/mL にて使用可能
- 特異性 : 皮脂腺、乳癌、前立腺癌などに対して陽性を示す。
- 参考文献 : 1. Alo' PL, Visca P, Marci A, Mangoni A, Botti C, and Di Tondo U. Expression of fatty acid synthase (FAS) as a predictor of recurrence in stage I breast carcinoma patients. *Cancer* 1996; 77 (3) 474-482
2. 第 87 回日本病理学会発表 (福島県立医科大学第二病理学教室 鈴木利光)